

## 会 議 録

会議の名称	第66回小金井市公立保育園運営協議会次第	
事務局	子ども家庭部保育課	
開催日時	令和4年11月19日(土) 午後3時30分～4時43分	
開催場所	市役所本庁舎 第一会議室	
出席者	五園連	葛窪 千晴 委員(くりのみ保育園) 泉川 紗都 委員(くりのみ保育園) 大島 康宏 委員(わかたけ保育園) 小林 那奈好 委員(わかたけ保育園) 田邊 明日香 委員(小金井保育園) 佐藤 瑳夕里 委員(さくら保育園) 保々 博美 委員(さくら保育園) 中澤 超 委員(けやき保育園)
	市	大澤 秀典 委員(子ども家庭部長) 三浦 真 委員(子ども家庭部保育課長) 平岡 良一 委員(子ども家庭部保育政策担当課長) 前島 美和 委員(くりのみ保育園園長) 杉山 久子 委員(わかたけ保育園園長) 小方 久美 委員(小金井保育園園長) 柴田 桂子 委員(さくら保育園園長) 池田 由美子 委員(けやき保育園園長)
欠席者	五園連	河原 莉菜 委員(小金井保育園) 岩間 みどり 委員(けやき保育園)
傍聴の可否	○可 ・ 一部不可 ・ 不可	
傍聴者数	5人	
会議次第	1 開会 2 議事 (1) 前回会議録の確認 (2) アンケートについて (3) その他 (4) 次回日程について	
発言内容・ 発言者名(主な 発言要旨)	別紙のとおり	
会議結果	1 開会	

	<p>2 議事</p> <p>(1) 前回会議録の確認</p> <p>(2) アンケートについて</p> <p>(3) その他</p> <p>(4) 次回日程について</p>
提出資料	(1) 資料276 令和4年度公立保育園の運営に関するアンケート調査（集計結果）
その他	なし

令和4年11月19日

開 会

○大澤委員長　それでは、ただいまから、小金井市公立保育園運営協議会の会議を開会いたします。

本日は、対面、リモート併用での会議となります。リモートの参加の方につきましては、音声のみでの参加となりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日は、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大している状況もございますので、会議の進行等につきましては、委員の皆様の特段のご協力をお願いしたいと思います。

また、リモートの参加というところもございますので、ご発言をされる際は、お名前のほうと、ゆっくりめにお話をしていただけるよう、ご配慮をお願いしたいと思います。

それでは、大島委員長のほうからもご挨拶よろしくお願いいたします。

○大島委員長　大島です。

本日は、先日、市長が辞任されて、来週に選挙を控えている状況ということもありまして、市側として回答することは難しいことが多いことは伺っております。という状況ではありますが、保護者側として決まってしまったことがありますので、不安が出ていますと、意見が上がっていったので、そういうところも含めて、本日は意見として伝えたいことがありましたため開催ということをお願いしておりました。という状況もありますので、保護者側としては出ている不安など、または疑問点を確認させていただきたいと思います。

本日はよろしくお願いいたします。

○大澤委員長　ありがとうございます。

本日は、河原委員と岩間委員よりご欠席の連絡をいただいておりますので、冒頭報告をさせていただきます。

それと葛窪委員につきましては、少し遅れてのリモートの参加というふうに伺っており、泉川委員、佐藤委員につきましては、リモートでの参加となります。また、杉山委員におかれましても少し遅れての参加というふうに伺っておりますので、その旨でよろしくお願いいたします。

それでは、まずはじめに（１）前回の会議録の確認を議題といたします。

前回の会議録につきまして、委員の皆様には校正をお願いしましたが、特段、修正のお申出がありませんでしたので、校正依頼した内容をもちまして確定とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○大澤委員長　ご異議がないようでございますので、校正依頼した内容で確定とさせていただきたいと存じます。

会議録につきましては、速やかにホームページにて公開させていただきたいと存じます。

次に、（２）アンケートについてを議題といたします。

今年度の運協のアンケートにつきましては、９月５日の月曜日に回答を締め切らせていただき、前回の会議におきまして回収状況などについてご報告したところでございます。このたび、全体の集計が終了しましたので、三浦委員のほうから説明方、よろしくをお願いいたします。

○三浦委員　それでは、保育課長の三浦と申します。本日はよろしくお願いをいたします。

私のほうからは、資料２７６につきまして、ご説明をさせていただきます。

このアンケートでございますけれども、令和４年８月１９日から９月５日までを調査期間として実施をいたしました、公立保育園の運営に関するアンケートの集計結果でございます。自由記述欄の記載内容も含めて集計したもので、分量としてはかなりのボリュームになっているところをご容赦いただきたいと存じます。詳細につきましては、それぞれご確認をいただければと考えてございますが、本日は回答の傾向や特徴的な点についてピックアップをして概略をご説明申し上げます。

それでは、ご説明いたします。まず、１ページ目の回答率についてでございます。

今年度の回答率は、５２．２０％となっております。昨年の５９．９１％から約７．７ポイント減少した結果となっております。

次に、２ページの全体評価についてでございます。

こちら、５園の合計で、「満足している」を選んだ方が５３．７４％、また、「おおむね満足している」を選んだ方が４２．９９％となっております。この２項目の合計は９６．７３％で多くの皆様から満足している旨のご回答をいただいております。ありがとうございました。

この傾向につきましては、直近3回のアンケートの結果を見ましても、3回とも95%以上の方から「満足している」または「おおむね満足している」とのご回答をいただいております。年度間のばらつきはなく、満足度は高い水準を維持しているものと考えてございます。

次に、3から9ページの全体評価の理由についてでございます。

理由19項目のうち、毎回、満足度が高い項目は、①保育内容、②保育士の園児への対応、④給食の内容となっております。この傾向は今年度も変わってございません。

なお、今年は⑩園庭を選ぶ方の割合が例年より増えており、「満足している」または「おおむね満足をしている」を選んだ人の理由を集計した結果では、⑩園庭が全体の1位となっております。

次に、10から15ページの保育ニーズについてでございます。

こちらにつきましては、今回の調査より「民営化問題の解決」、「第三者評価父母へのフィードバック」、「放射線に関する測定の強化」の3項目を調査項目から除外し、新たに「K 新型コロナウイルス等の感染症対策」、「L 連絡書類の電子化」を追加し、調査を行わせていただきました。

昨年の結果では、1位、「民営化問題の解決」、2位、「保育士の欠員を含めた体制の問題」となりましたが、今年度の1位は「S 施設面の改善」、第2位といたしまして、「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」となっております。特に「S 施設面の改善」につきましては、選ぶ方の割合が年々増加しているものと考えているところでございます。また、今年度追加となりました「L 連絡書類の電子化」につきましては、全体の3位という状況でございました。

その他、16ページからの保育園の保育の状況、23ページからの公立保育園の保育士体制につきましては、おおむね例年と同様の傾向となっているものと感じてございます。

最後となりますけれども、自由記述の内容についてでございます。

こちら、皆様、多くご記入いただきまして、ご覧をいただいているとおおり、目を通していただくのもかなりのお時間をいただくものかなというふうに考えるところでございます。

今年度は、廃園に関するご意見が非常に多かったことが一番の特徴として挙げられると思います。それ以外といたしましては、これまでも継続してご指摘をいただいている

保育士の体制や施設面の老朽化についての記載を多くいただいたところでございます。また、配布物等のＩＣ化等についてのご要望が比較的多くなっているのが、今年度の傾向かなというふうには考えるところでございます。

自由記述欄につきましての個別、具体的なお指摘、ご要望につきましては、今後とも各園などとも連携を取りながら検討、改善を行ってまいりたいと考えているところでございます。

次に、資料にはございませんけれども、アンケートの中で施設面の項目というところがありましたので、令和４年度の予算の中から公立保育園に関する事業内容等々について一部紹介をさせていただきます。令和４年度でございますので、今年度の内容でございます。ご理解賜ればと思います。

公立保育園に関する工事内容でございますけれども、今年度は２件ほどやらせていただいております。１件目が小金井保育園さんの０歳・１歳児トイレの改修工事でございます。予算内定時の状況ですと約１，１６０万円程度の事業費でございます。

次に、これもやっとなんかという思いもありますけれども、くりのみ保育園の正門の門扉の取替工事、こちらも工事完了いたしましたけれども、約５００万程度の事業費でございます。

その他、令和４年度ですとタブレット端末の借上料を増額したり、保育士等のキャリアアップ研修運営委託料なども予算を組んだりしてございまして、令和４年度につきましては、そのほかに民間保育園４園の開設経費が多く含まれているところでございます。

なお、令和５年度、来年の４月以降の予算につきましては、今予算立て中でございますので、本日申し上げることは差し控えさせていただきたいと存じます。

私からは以上のとおりです。

○大澤委員長 葛窪さんがリモートのほうにご参加されましたが、葛窪さん、こちらの声、聞こえますでしょうか。

○葛窪委員 聞こえます。

○大澤委員長 よろしく願いいたします。

今、三浦委員のほうから今年度の運協のアンケートにつきまして、概略、分析等も含めてご説明をさせていただきました。少しお時間を取りまして、こちらのアンケートにつきまして、意見交換をさせていただきたいと思います。

まず、このアンケートも踏まえて、ご質問とかご意見等がございましたら、発言方よ

ろしくお願いいたします。

小林委員。

○小林委員 わかたけの小林です。

前に1回、確認したかもしれないんですけど、このアンケートってウェブ回答はできないんですよね。たしか、セキュリティーか何かの問題で。紙での配布で、紙で回収するという方法しかなかったんですよね。結構、紙での回答が、ちょっと時間がないので大変とか、そういう声がばらばら上がっていたので。たしか、セキュリティー問題で紙でしかちょっと難しいと言っていたような気がするなど。もしウェブ回答が可能であれば、多分、回収率が今回は52%なので、もうちょっと上がると思いました。こちらのほう、ちょっと確認です。

○大澤委員長 ウェブでのアンケートの実施という質問かと思えますけども。

三浦委員、お願いします。

○三浦委員 保育課、三浦でございます。

今、わかたけの小林委員のほうからウェブでの回答の導入ということでご質問いただきました。おっしゃるとおり、ちょっとセキュリティーの関係というか、どうしても市役所がやると個人情報とか、その辺の絡みがターゲットになることが多いので、やや慎重になっているというのは否めない事実かなと思ってございます。

その内訳といたしますと、紙でも同じと言えば同じなんですけど、例えば、なりすましで回答されてしまうとか、そんなことも懸念されるかもしれないねという議論がちょっとありまして、運協の共同委員長の大島さんとも来年度に向けてどうしていこうかというところは協議をさせていただきたいなと思ってございます。

おっしゃるとおりウェブになれば皆様のお手間も少なくなるのかなという思いもございまして、可能であればこちらのほうに移行することも検討の視野に入れているという状況でございます。

私からは以上です。

○大澤委員長 今、状況につきまして、三浦委員のほうからご回答させていただきましたけども、小林委員いかがですか。

○小林委員 引き続き、検討のほどお願いします。

○三浦委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 大島委員長。

○大島委員長　大島から補足ですが、今後の検討課題となってくるとは思いますけども、まだ具体的なところまでは話はできていないというのが現状でございます。

一方の話なんですけども、学童におきましては、今年度、ウェブを使ったアンケートというのを実施しておりました。学童の場合は、全部選択式というところが一つというところと、あと、なりすましに関しても、そこは複数同じ人が何回もできちゃうんですけど、そこはもうしようがないという割り切りのもとにやっていたと思っております。という状況はありますが、その検討する方向というのは、一つとしては、学童が使っている、同じアンケートシステムというところですかね、というところを確認させてください。

○大澤委員長　学童の保育に関して、私の所管でございますので、私のほうからちょっと補足をさせていただきます。

学童につきましてもアンケートを取っているところがありまして、学童につきましても少し検討を進めてきた経過があります。ただ、アンケートのほう、学童はたしか25問くらいあって、それを1から4くらいで回答してもらって、あと自由記述はそんなに多くはなかったところがあります。

ただ、質問数を七つくらいと、かなり絞った形になりまして、あと自由記述というところがあります。ちょっとその完成形が多分もうそろそろ私も見られる形になるかと思っていますので、それはそれでちょっと参考にさせていただけるケースがあるかと思っていますし、やはり懸念しているところが幾つかあるので、それも含めて学童のほうも検証していくというような話をしていますので、そういった状況、同じ部でございますので、保育とも共有しながら次年度に向けて検討の課題というような形で進めさせていただき、ただ、ちょっとこの項目全部はかなりのボリュームになるかというところがありますので、その辺がまた、一つの大きな課題かと思っておることだけは、ちょっとお伝えだけさせていただきます。

○大島委員長　はい。継続課題とさせていただきます。承知しました。

○大澤委員長　アンケートのウェブ回答につきましても、引き続き課題とさせていただくこととさせていただきます、そのほか皆様方、いかがですか。

保々委員。

○保々委員　さくら保育園の保々です。

その自由記述の欄にも記載されている方いらっしゃったんですけど、このアンケート



を取った後、どういうふうにかかされているのかがあまり見えていなくて、私自身もこのアンケートは初めてだったので、この後の動きがどうなっていったのかがちょっと分かっていない部分があるので教えていただきたいんですけど、これを見て市のほうでは、これを取り組んでいこうとかとなると思うんですけど。一方で、このアンケートは、市と五園連と共同で取っていると思うので、我々にもこれを確認して、改善をしてほしい部分とかピックアップしてお伝えしていかなくちゃいけないのかなというところはあるのかなと思っているんですけど。この後の運協の2か月後とかでも、この話題を出して、この辺をやってほしいとかという要望を出していくというのが例年ですか。例年、どうされているのでしょうか。

○大澤委員長　　まず、このアンケートを取って、例年どうしているのかというところと、その後の運協でどうしていこうかというご質問かと思っておりますので、まず、ご質問のほうの内容につきまして、三浦委員、お願いいたします。

○三浦委員　　保育課の三浦でございます。

まず、市のほうといたしますと、アンケートを取らせていただいて、当然、先ほど申し上げたとおり予算がかかるものにつきましては、次年度の予算要求の参考にさせていただくというところは、まず大きなポイントだというご認識をいただければと思います。

例えば、くりのみ保育園の門扉、先ほども申し上げたのですが、ずっとご要望いただいていたところもありまして、やっと予算化につながったという背景はあります。

もう一つ、運協の中で、これをどのように議論していくかというところでございますけれども、今のところは各園長先生方にご出席いただいておりますけれども、それぞれお持ち帰りをいただいておりますので、ご自身の園からこういう意見があったというところのご認識をいただけると思います。

運協の中でご議論するかどうかというところは、ちょっとまだ内部のほうでも検討したところがない状況でございますので、皆様方、次回持ち帰りということで、何かご質問が引き続きあるということであれば、可能な範囲でお答えはさせていただきたいというふうには考えます。

以上です。

○大澤委員長　　アンケートを取って、この運協でテーマを決めて話題にしようという話は毎回出たことはあるんですけども、そこに特化した形で、何かテーマを決めて議論できた経過というのは、なかなか今まではできていないというような状況ではあると思っています。

今回につきましては、今、我々市のほうにつきましては、予算に伴うものにつきましては対応させていただいているというところがあり、今後、今回アンケートを取って、それをどのような形にしていこうかというところは、このメンバーの中で議論をしていく形になるかというふうに委員長としては認識しているところでございます。

保々さん、お願いします。

○保々委員 ちょっと追加なんですけど、これは、この後、保護者の方にはどういう感じで提示がされていくんですか。

○大澤委員長 このアンケートの結果報告というご質問かと思います。

三浦委員、お願いします。

○三浦委員 保育課の三浦でございます。

まず、分量が多いので、これを全体にというのは、なかなかちょっと紙ベースで配るのはやや抵抗感があるかなと思っておるんですけども、例年ですと、1枚物に、概要というんですかね、それをまとめさせていただいて、ここでご協議いただいた後に配ってきたという経過はありますので、全部を全部載せるということではないですが、経過としては皆様のほうにお配りをしたいなと思ってございます。

ただ、詳細のものをご覧をいただきたいというご要望もあるかもしれませんので、それを園に1冊ずつくらいは備え置いていただいて、ご興味のある方はそちらをご参照いただくというやり方でいかがでしょうか。

以上です。

○保々委員 ホームページとかには載らないんですか。

○大澤委員長 平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

今、三浦委員からも申し上げたとおり、フルバージョンを皆様のお手元というところはちょっと難しいところがあったので、概要版とお手紙をおつけして、そこにQRコードをつけて、この資料自体は運協の資料ということでホームページには自動的に載りますので、そちらにご案内できるような形のお手紙を毎回差し上げておりますので、今回もそのような形を中心にちょっと考えたいなとは思っております。

○大澤委員長 保々さん、お願いします。

○保々委員 そのときになんですけれど、先ほど冒頭に令和4年度の実績でこれをやりましたというご報告あったかと思うんですけど、そういうのが一緒に載ると、このアンケートを何

に使っているのかが分からないというご意見あるので、そういうのがちょっと解消されて、何をやっているのかが分からないと、どんどん回収率が下がっていつっちゃうのかなとちょっと思ったところがあって、これをやったからこれの改善につながったんだよというところが保護者にダイレクトに伝わるというのとちょっと思ったので、意見ですけども述べさせていただきます。

以上です。

○大澤委員長　今、このアンケートを取った後の保護者へのフィードバックにつきまして、ご意見とご質問をいただいたかと思っています。例年ですと先ほど申したとおりに、概要版のほうを送らせていただいてQRコードで見ていただくという形を取らせていただいているところはございます。

まず、このやり方を今回も取らせていただいているかどうかというところを皆様方のご意見を承りたいというのが一つ。

それと今、ご意見として保々さんのほうから、R4年度で市のほうで取り入れられたものも載せられないかということについては、すみません、今の段階ではご意見というように形にさせていただきたいと思っておりますが、このフィードバックのところにつきましては、例年どおりというような形で事務側としては考えているんですけど、皆様方、それでよろしいでしょうかということをご意見いただきたいと思います。

大島委員長。

○大島委員長　大島です。

例年の動きで問題ないと考えております。ただ一方で、五園連の中でちょっと議論をしたいという話が今日でも出まして、ホームページに全量が載っかるというのはちょっと時間がかかるのであれば、事前に私のほうにPDFなり頂ければ、私のほうから五園連に展開するという事は問題ないのでしょうか。

○大澤委員長　資料につきまして、公開の資料というふうな形でお出しをしていますので、委員長のほうにお渡しする部分、速やかにはできます。

○平岡委員　平岡です。

ちょっと期日は、こちらのほうでもなるべく早くということになると思うんですけども、1週間はかからない程度で、ホームページのほうには今日の資料として、会議資料として上がることにはなります。

ただ、共同委員長のほうで展開するために必要ということであれば、そもそも公開資

料ですので、それは別途お送りすることは、それはそれで可能というふうに思っております。

○大澤委員長     ありがとうございます。

大島委員長。

○大島委員長     ありがとうございます。ちょっと私のほうで問題ないと言ってしまったんですけど、ちょっとほかの方のご意見もいただきたいと思ひまして、すみません。先ほどのPDFの話じゃないですけど、QRコードで配るという形で、何かご意見があればお願いいたします。

○大澤委員長     皆様方、いかがでしょうか。今日お渡しをしている資料につきましては、この1週間以内にはホームページに上げさせていただきます。後ほど、少し短いような、A4サイズのもの、いつものとおりの資料というのはいつ頃お渡しできるかというのは後ほど発言をしてもらいますけども、その取扱いというところにつきまして、皆様方のご意見を承りたいと思ひますが。

例年どおりのやり方でさせていただき、ホームページのほうにつきましては、速やかに今日の資料としては出させていただきますというふうに思っております。多分、この概要版を作成するのに若干あるかと思ひますが、予定としてどのように考えているかだけ、三浦委員のほうからあればお願いします。

○三浦委員        去年の例で申し上げますと、実は3月だったんですね。年明けの3月だったので、ちょっとそんなにはかけてられないなという思ひもありまして、今日は11月下旬でございますので、できれば年内ぐらいを目途にやらせていただければと思ひます。

以上です。

○大澤委員長     いずれにしても、時期等が分かれば、また委員の皆様方のほうにはフィードバックはさせていただきますと思ひますが、まず、ホームページのほうにつきましては速やかに上げさせていただくという形で、今回の資料の取扱いにつきましてはそのようにさせていただくということで、皆様方から承認を得たという形にさせていただきますと思ひます。

○三浦委員        ありがとうございました。

○大澤委員長     では、改めてほかに、こちらのほうのアンケートにつきまして。

大島委員長お願いします。

○大島委員長     保々委員のお話にちょっと補足になりますけれど、前の運協での取扱いということに

ついて、毎回ではないんですけど、前はアンケートが上がった後に対市懇談会というもの  
の開催も冬に、1月とかにやっております、12月、1月もやっていたこともあり  
まして、その中でアンケートで出た重要項目について、五園連側で取りまとめて、それ  
を改めて、きちんと市長に対して質問するという場をつくっていただくこともありまし  
た。それはちょっと今年度についてどうするかということはこれからの議論なんですけ  
れど、そういう形で直接対応の場をつくっていくということも可能です。

あと、今年度の動きとしましては、五園連のほうで、今年はちょっと早くアンケート  
が取れていますので、次回の五園連の場で議論する時間を取るという形で、12月の五  
園連の場でこのアンケートの、お互い、各園なり、皆さん確認する時間を取りまして、  
それをもってまた運協に臨むという形ができますので、そういう形で、今日、五園連で  
報告しましたので、そういうふうにご考えてございます。

補足としては以上です。

○大澤委員長 今、保護者側のアンケートの取扱いにつきまして、共有というところで委員長のほう  
からご発言があったものかというように思っております。このアンケートにつきまして  
は、保護者側、市側という形で両名で取扱いしており、先ほど市側としては、対応でき  
るものにつきましては、予算が伴うものにつきましては対応をしていく、保護者側とし  
ては、保護者側のものとして、先ほど委員長のほうからもありましたように、五園連側  
と市側の対市懇の中でも、発言がご質問というような形で出てきた項目もあるかと思っ  
ておりますので、そこにつきましては、引き続き、両機関の中で取扱いというところか  
あるかなというふうに思っております。

ほかに、この件につきましてはいかがでしょうか。

田邊さん、お願いします。

○田邊委員 今回、短い期間でアンケート、結構な量を収集していただいて、市の方ありがとうございます  
ございましたということと、あと、アンケート結果が例年、おおよそ満足しているという  
ことで、すごく保育サービスをいいものをご提供してくださっているのかなと、この場を  
借りて感謝を申し上げます。園長先生たちのおかげだと改めて感じております。

私からの質問としましては、昨年度以前、過去なんですけれども、このアンケートに  
基づいて何か実績として実際に取り入れた、アンケートで上がったからこういうのも投  
入したとか、何かアンケートを答えたことによって成果につながるような実績って過去  
あったのでしょうか。ちょっと私が過去を知らないのですが、もしあったら教えていただき

たいのですけれども。

○大澤委員長 今、ご質問ということで、このアンケートを取って行政として何か取り入れられたものがあるかどうかというご質問かと思しますので、三浦委員のほうからお願いします。

○三浦委員 保育課の三浦でございます。

まず、直接的にこれがというところは、なかなかちょっと申し上げにくい部分あるんですけども、アンケートを取ったことがきっかけになって事業として実現したものは複数あります。例えば、今、皆さんにご案内させていただいているメール配信システムというのがあります。学童さんのほうでは既に導入をしていたんですけども、ちょっと保育園は導入しておらず、それについてはこのアンケートの、この結果の中でメール配信システムを入れてほしいという要望がありまして導入に至った経過もございます。

それから、もう皆様のほうは慣れたと思うんですけども、QRコードで登園管理をするコードモン（C o D M O N）ですか、あれも、一つの側面とすると新型コロナが流行ってきたので即時的に登園状況を確認したいという背景はあったんですが、国の補助金などのタイミングも合いましたので、この辺についてもこのアンケートがきっかけになったというところはございます。

そのほか、アンケートの中でやっぱり出てくるのが、施設がちょっと古いというところはたくさん出てきます。目に見えない部分で、例えば、わかたけ保育園さんが非常階段を直したとか、そういう部分、アンケートには出てこないんですけども市のほうとしては、そこにも予算をつけていったということで、目に見える部分、目に見えない部分、当然あるんですけども、予算をつくる中では、こちらのアンケートについても参考にさせていただいているところは間違いないと言えると思います。

以上です。

○田邊委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 田邊さん、お願いします。

○田邊委員 そうしますと、今は比較的、システム導入というメール配信システムとかコードモンとかがアンケートで気づきが得られて、取り入れられたということと、あと施設の古さに関しても、これはすみません、今アンケートに現れていなかった、具体的な、わかたけのここの部分が古いというのがアンケートにあったわけではないけれども、施設が古いという声をアンケートで拾い上げて、それはアンケートがきっかけになったということなんですか。施設が古いことは、そこを直さないといけないというのはもともと分かっ

ていてやったものなんですか、それはアンケートが絡んでいるんですかね。

○平岡委員 平岡です。すみません。私のほうが古いので。

実は、この運協のアンケートもありますし、先ほど大島委員長がお話された五園連さんからの別の要望というのがあります。それから、園によっては保護者の方と園の中を点検されるという、やっぺらっしやるのもあるかと思っていて、やっぱり老朽化という大きな問題の中で、いろんな方面から上がってくるものと、我々も実際に現場を見て感じるものが多々あるものですから、そういった中で拾い上げていく中で、役所もお金が限られているので、私たちとして予算として取れたものを順次やっていくという状況がありました。そういった中で、直近で具体的に分かりやすい例で申し上げると、先ほど三浦が言ったように、わかたけさんのその改修工事が直近ですと一番分かりやすいもののなのですが、運協のアンケートでなかなかこのここを直してくださいというところまで書かれる方はいらっしゃらないと思うので、やはり老朽化というところの着目と、書かれている内容などもほかのご要望と併せて参考にしながら、私たちのほうで予算の要求につなげていっているというのが現実的になりますので、そういうような形でご理解をいただければというふうに思います。

○田邊委員 かしこまりました。では、アンケートが活着していると申しますか、意味はあるという、そういう言い方あれですけども、分かりました。

○三浦委員 補足させていただいてよろしいですか。

○大澤委員長 三浦委員。

○三浦委員 今、ちょっと思い出したと言ったら失礼なんですけど、冒頭、申し上げたとおり、やっぱり、くりのみさんの門扉というところはかなりアンケートでもご指摘をいただいたところがあって、直接的につながっているものでございます。

そのほか、ここ最近なんですけれども、各園にセキュリティロック、入り口のところに暗証番号入れるようなロックがありますよね。あれもセキュリティーがちょっと不安だという声がアンケートの中にあって、タイミングを合わせてやったというところもありますので、おっしゃるとおりアンケートを参考にさせていただいて具体の事業に取りついたという事例は多くあります。

以上でございます。

○田邊委員 ありがとうございます。

○大澤委員長 本来であれば早い時期にアンケートが取れて、必要性があれば予算に間に合う時期に

要求するというような形ができたときもありました。ただ、結果的にちょっとアンケートを取る時期が遅くなって、1年遅れて要求しなければいけないものもあります。

あとは、施設の老朽化を考えると、五つくらい工事を出させて予算を出させていただくケースはありますけども、全てがやはり通る、予算が取れるわけではなく、この中でどれを大事にしていくかというところもあったりするところもあるので、一応、我々としては予算に反映できるものとしてピックアップをさせてきていただいているというところが、まず我々としてこのアンケートをまず一つ活用させていただいている部分は昔からあるということで、私からもお伝えさせていただきます。

○田邊委員　　そうしましたら、アンケートの取る時期というのは、本来あるべき姿がもうちょっと早い時期がいいということですね。

○大澤委員長　　すみません。もう一度。なかなか、メンバーが変わったりとか、あと、入ったばかりというところもなかなか聞きづらかったりとか、あと、この間、いろいろ市の課題とかもあって、どちらを優先するかというところもあったりして、なかなかこのアンケートの取る時期というところもいろいろ皆さん方と、そういうのも踏まえて対応してきたというところがやっぱり経過としてあるかというような思いは持っております。

○田邊委員　　分かりました。

○大澤委員長　　では、ほかに、このアンケートの関係、いかがでしょうか。

○大島委員長　　リモートの方はいかがですか、何か。簡単なことでもいいと思います。  
ちょっと私から。

○大澤委員長　　大島委員長。

○大島委員長　　基本的なところを教えていただきたいんですが、おむつ持ち帰りの要望が毎回、挙がっていますが、何でこれの実現が難しいんでしょうか、教えていただけますでしょうか。

○大澤委員長　　おむつの関係の持ち帰りの要望に対してというところで、三浦委員、お願いします。

○三浦委員　　保育課長です。

おむつの関係でご要望が多いところは私ども認識をしているんですが、端的に難しいというところは、ちょっとごみの量の関係のところが大きく影響するところでございます。ちょっと専門的なお話になって恐縮なんですけど、保育園のほうでおむつを出すと事業系ごみというふうになりまして、皆様の家庭から出るものとは違うごみの種類に、物は一緒なんですけどね、なってしまうので、その量についてちょっと調整が難しいというところが1点ございます。



こちらもずっとご要望をいただいている内容でありますので、関係部局とも協議をさせていただいているところなんです、形になっていないところが大変申し訳なく思うところでございます。引き続き、私どものほうとしても頑張ってもらいたいなどは考えるところでございます。

以上です。

○大澤委員長 大島委員長、いかがですか。

○大島委員長 分かりました。また五園連でも持ち帰って、ここは議論したいと思います。

○大澤委員長 ほかにいかがでしょうか。

今日、お見せをさせていただき、まだ五園連さんの中でも、この資料というところがまだ見切れていないと思っております。今日時点では、このぐらいの意見交換というふうにさせていただき、また次回以降、何かこの部分を含めて問題提起等がございましたら大島委員長のほうでちょっと調整をしていただき、早い時期に何かあるようでしたらご連絡をいただいて、また次回以降、取扱いも含めてどういうふうにするか、また意見交換の場はどうするかという形でさせていただきたいというふうに思っております。ですので、今日の時点ではここまでとさせていただき、また次回以降何かあれば。

それと、保護者へのアンケートの結果につきましては、先ほど申したとおり、なるべく早く対応したいと思っておりますし、取りあえずホームページのほうには早めに上げさせていただきたいと思っております。

あと今後のアンケートについて、ウェブでのところにつきましては、引き続き継続というような形の扱いで、本日につきましては、こちらのほうの意見交換をこのような形で整理をさせていただきたいと思っております。

それでは、続きまして、(3)のほうのその他のほうに移らせていただきたいと思います。

この(3)につきまして、はじめに9月の運協以降の市のほうの動き等につきまして、平岡委員より口頭にてご報告をさせていただきたいと存じます。よろしくお願ひいたします。

○平岡委員 平岡です。それでは、私のほうから報告等をさせていただきます。

はじめに、これまでの状況報告の前に、前回の運協におきまして、私の発言した中で、保育の質の定義はするべきではない旨の発言があったかと思いますが、これにつきましては、私としましても行き過ぎた発言であったということで反省しております。また、

市の現状とも異なる発言でございましたので、この場をお借りしましてまずおわびを申し上げます。

本来、正しくは、市としては現時点で保育の質の定義を行うという整理をしていないという内容にとどめるべきところでありましたが、そのようなことではない発言もしてしまったということについては、改めておわびを申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

それでは、続きまして、前回の9月の運営協議会以降の市の動きについて簡単に口頭でご報告をさせていただきます。

前回の会議が9月10日でしたので、ちょうど小金井市立保育園条例の一部を改正する条例が議案として市議会に上程をされていた状況でございました。その後、令和4年9月26日から27日にかけて市議会の厚生文教委員会でこの議案の審査が行われまして、この議案については厚生文教委員会としては継続審査となりました。

その翌日の9月28日の市議会本会議において、厚生文教委員会委員長より継続審査となった旨の報告がされまして、本議案の継続審査が市議会本会議で決定されました。

その翌日9月29日は、前市長が小金井市立保育園条例の一部を改正する条例を専決処分いたしまして、これを受けて9月30日、10月3日、10月4日の3日間、この専決処分についての市議会全員協議会が開催されました。

そして10月7日の市議会本会議において、前市長は専決処分についての承認を市議会に求めましたが、結果は不承認となりました。

同日、前市長より10月14日付で辞職したい旨の辞職願が議長に提出されまして、同日、市議会において、この辞職は承認されました。

次に、その後の市のほうの動きでございますが、専決処分は議会で不承認となりましたが、専決処分自体は有効でありますので、市としましては専決処分によって改正された条例に基づき事務を進めております。

具体的には、見直し方針等にかかせていただいているとおり12月の入所から、くりのみ保育園とさくら保育園、こちらの2園からの転園する場合の優遇措置の開始と、同じく該当2園の児童定員上限までの児童の募集を再開しております。

また、令和5年4月募集については0歳児の募集は行っておりませんで、1歳以上の募集については児童定員分のお子さんが全て進級することを前提とした人数で募集を行わせていただきました。

なお、今後のことにつきましては、新しい市長が就任した以降、新市長の意向によるものとなりますことから、現時点での状況についてのご報告までとさせていただきます。

私からの報告等については以上でございます。よろしくお願いいたします。

○大澤委員長　　今、平岡委員のほうから前回の運協以降の市のほうの動きにつきまして、すみません、口頭にてお話をさせていただいたところです。

ご存じのとおり、今、市長が不在というふうな状況があり、そのほかのことにつきましては新たな市長がお見えになってからというものもあるという状況があるのが現状でございます。今日、この場につきまして、まず今の報告等を聞いて、ご質問等があればご質問を承るような形、最後にちょっとご意見という形があればご意見を承るというような形で、ここの場面につきましては進めさせていただければなというふうに思っております。

まず、皆様方からご質問がございましたらご発言方、よろしくお願いいたします。

田邊委員、お願いします。

○田邊委員　　私のことではないんですけども、くりのみの保護者の方から今度の運協で確認をしてほしいということで求められている内容になりまして、新市長が決まって専決処分がもし取り消された場合、新市長がもし取り消すと判断した場合のスケジュールがどうなりますかというところで、専決処分が取り消されると段階的縮小ではなくって元の形に戻ると思うんですけども、その場合に0歳の募集、くりのみとさくらはどのようなスケジュールを想定されておるのでしょうか。

○大澤委員長　　新たな市長がどのようなご判断をしてからという、スケジュールというところだと思っております。大変恐縮ですが、そこも含めてのこれから、市長がどのような方針、お考えになるのかによっても変わってくる部分もあるので、なかなか今の段階でこうだというのは、今日の時点では発言するのはなかなか難しいかと思っております。

ただ、いずれにしても、考え方はどのような形になるかちょっと定かではありませんけれども、一定の動きがあれば、当然、運協委員の皆様方、委員長を含め皆様方にはお知らせはしていかなければいけない案件のこともあるかというふうなことを思っておりますので、その旨、本日につきましてはご理解をしていただければ幸いかなと思っております。

○田邊委員　　ありがとうございます。

そうしましたら、その方の意見としては、下のお子さん、0歳のお子さんがいらっし

やるので、現実的な問題としてスケジュール、仮の話なんですけれども、新市長が専決処分を取り消しても元の形に戻るといった場合に、スケジュールとしてはもう最速で、くりのみとさくらの0歳募集再開を最速でお願いしたいと強く希望されていました。

加えまして、これは小耳に思っているんですけれども、その0歳の子の預け先を今選定している中で、ちょっと保育に不安を抱える、障がい児とまでは言えないと思うんですけれども、ちょっとお母さんの的には不安な部分があったときに市に相談したら、民間に関しては自分で、個別で電話して相談してほしいと言われてた。民間の園に電話して聞くとちょっと塩対応だったらいいですね。なので、そういう実情もあって、現に不利益、もし専決処分がなければ2人目もくりのみに預けようと思っていたみたいなので、くりのみの保育、障がいまでいかないですよ、全然そんな、健常児なんですけど、不安があったときにちょっと民間の保育園に自分でアクションして、なかなか返事の仕方というのが、各園によると思うんですけれども、ちょっと不親切な部分も見受けられたみたいなので、そういう声をちょっと聞いたというところなので、新市長次第というところにはなるんですけれども、ちょっと意見として、なるべく速やかに元の形に戻るのであれば戻していただきたいという声がありましたので、これは意見でお願いします。

○大澤委員長 今、田邊さんの最初の質問は、私の答弁でご理解していただいた形と。

○田邊委員 はい。

○大澤委員長 二点目につきましては、そういうお声があったという形は意見というような形で承らせていただきたいというふうに思います。

○田邊委員 はい。2人別々の保育園に通わせるということが、結構、家庭にとって負担で、そういう意味でも今回の専決処分で誰が不利益を被るのかなってというところがすごく感じた、切実だったんですね。なのでちょっと伝えてほしいということで。

○大澤委員長 ご意見という感じで整理させていただきたいと思います。

○田邊委員 はい。

○大澤委員長 そのほか皆さん、いかがでしょうか。

大島委員長。

○大島委員長 田邊委員の話で、ちょっと確認、補足という形でさせていただきたいんですけれども、民間園の方に対してちょっと手のかかる子をお願いしたいと相談したときに塩対応という言葉が入っていましたが、そういうことって許されるものなんですかねというところ

ると、じゃあ、そういうときに市側としてはどういうサポートしてくれるというものなんでしょうか。あまりにも何か、保護者側がすごい大変な状況になっているところで放置している問題ではないと聞いていて思いましたが、いかがでしょうか。

○大澤委員長　　今、入所の事務の取扱いに関してのご質問というふうな形かと思しますので、平岡委員。

○平岡委員　　入所の部分について、まず市のほうで、園のほうに直接お問合せをしてくださいというのは、園の体制ですとか、園の考え方、そのお子さん自身に対してということではなくて、どういう園なのかということも含めてお話を理解していただく意味もあるので、そういうようなご案内を一般的にさせていただいているというのは、まずあります。

それに対して、塩対応だったと一言でお話があったんですけども、やはりこういうようなところをもう少しきちんとしてほしかったとか、そういうようなお話が具体的にあれば、こちらのほうも園のほうにお話をさせていただく場合もあります。ただ、丁寧に対応してくださいと言うだけでは、やはりこちらとしても十分ではないと思っているので、具体的にこういうような対応があったということがあれば、市のほうからも園のほうにさせていただくことはできると思うんですが、ただ、園としても職員体制とか全体のバランスがあるので、100%受ける、受けないというところまで行政のほうで強制はできないのですが、最初のその対応であるとか、そういう部分について、何か困ったこととか、そういうお話があれば、もし皆さん、お忙しいのは重々承知はしているんですけども、もし可能であれば直接ご本人様のほうから保育課のほうに、こういうことがあったんだけどというお話をいただくと、こちらも具体的にお伝えの仕方があるかなと思っていますし、逆にあまり詳しく伝えられると困るという方もいらっしゃるものですから、その辺も含めて直接お話をいただくと我々としてもありがたいかなというふうには思っております。

以上です。

○大澤委員長　　大島委員長、いかがですか。

○大島委員長　　個別事案という形になると思いますから詳細が分からない中で、ここで議論は難しいというところは理解をしてございます。その一方で、この私立保育園側のほうで独自の判断、何か一定の公平的な基準がない中で、独自の判断に基づいて、この子は受入れ可能、この子は受入れ不可能、その理由も特に保護者に伝えられないというようなこともあり得るというふうな形に私は聞いていたんですけど、そのようなものなんでしょうか、

そもその話なんですけど、そこをちょっともう少しお伺いできればと思います。

○平岡委員 平岡です。

今、大島委員長おっしゃる部分は、とても保護者の方にとっては心配なところだろうなというふうには思っておりますが、最初におっしゃられたとおり、やはりケース・バイ・ケースになってくるかなというふうに思いますので、ちょっとなかなかこちらとして、今、大島委員長がおっしゃったことが、あるともないともこちらとしてはちょっとお答えしにくいというか、お答えする判断としてはちょっと難しいなという思いがありますので、やはり何か困ったことがとか、そういうようなことがあったときにお話をいただくと、私どもとしても動ける部分については動かさせていただければなというふうに思っております。

ただ、先ほど申し上げたとおり、基本的には、皆さん受けていただきたいというところを思っておりますけれども、園の体制とかクラス編制、クラス運営などの関係もありますので、絶対どこの園も受けるということは、市のほうで強制するところまでの制度にはなっていないかなというふうに思っておりますので、ちょっとそここのところに行き違いとか状況のところよっての違いというのも様々なお話の中ではケースとしてはあるのかなというふうに思っているのです、ちょっとこの場でこれ以上、私どものほうで今おっしゃったことに対してのジャッジをさせていただくのはちょっと難しいなというふうに思っておりますが、やはり丁寧に対応していただくべきだろうなというふうには行政としては考えております。

○大澤委員長 委員長、いかがですか。

○大島委員長 理解いたしました。一つだけ言えば、答えられる形で質問という形でさせていただきたいんですけど、私立保育園はこういう方は受入れできますという基準が公開されているということは、ないということですね。それはもう個別に判断されるものという理解でよろしいのでしょうか。

○大澤委員長 事務局から、ちょっとご質問にお答えさせていただきます。

○事務局 事務局の清水と申します。

まずは毎年配布させていただいています入所案内のほうには、特別支援保育が対応可能なかどうかというのは、バツか三角で各園、一覧で出させていただいていて、その中で様々園のほうで、民間園のほうでも多くの配慮が必要なお子様のお預かりはしていきたいという状況でございます。

なかなか一律にこういったお子様は難しいとかというのは、やはりそれは、先ほど平岡が申したとおりケース・バイ・ケースと、あと、クラス編制状況にかなり大きくよると思うんです。特性のある子がたくさんいるクラスに、これ以上特性のある子を入れるのはちょっと難しいよという判断は、園長や園の職員としてやっていくものだと思いますので、そこの判断は本当に園の話を聞きながら、市のほうもなるべくお預かりいただきたいという方向でお話を進めさせていただいているという状況です。

以上でございます。

○大澤委員長 大島委員長。

○大島委員長 言いたいことはありますけど、状況としては理解をしました。

○大澤委員長 ありがとうございます。

ほかに皆さん、いかがですか。

田邊委員。

○田邊委員 皆さん、ありがとうございます。平岡委員から、先ほど行政としては丁寧に対応していきたいと思っているというご発言ありましたので、つまり入所のところで親が探していく中で、各園に電話して確認してくださいというところの後に、フォローとして電話して相談したら、こういう回答だったんだけどと個別具体的に園名とかも上げて保育課にまた相談すれば、その後の段取りもフォローしてもらえるとこの考えでよろしいですか。結構、丁寧に対応してもらえるとこのことでよろしいですか。電話して聞いてくださいねで終わりじゃなくて、その後も相談には乗っていただけるということですよ、さっきのお話だと。

○大澤委員長 今のはフォローに関するご質問だと思うんですけども、平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

どのようなフォローをさせていただけるかというのは、それこそケース・バイ・ケースだというふうに思っておりますし、例えば、最初その園に行きたいと思っていたけれども、そういう対応されたので、その園は自分としてはもういいので別の園どこかありませんかとか、こういうことで悩んでいるんですとか、そういうお話の中で、やはり市役所としてできること、それから、どうしても保護者の方にやっていただかざるを得ないこと、様々あると思うんですね。なので今ここでふわっと全てこちらが調整させていただくというようなお答えは難しいというふうに思っておりますので、ただ、お困りで本当に困っていらっやっって、どうしようというところがあれば、園でこういう話が

あって、もうこの園は駄目だと思っていて、もうどうしたらいいんだとか、そういうようなご相談は市のほうでもお受けさせていただいて、対応できる部分については対応はさせていただくことにはなりますけれども、先ほど申し上げたとおり、強制的にこの園に入らせていただくとか、そういうようなところまで市のほうの権限は持っているわけではないものですから、そういった範囲の中で様々ご相談に乗らせていただきたいという趣旨で申し上げましたので、そのような形でご理解をいただければというふうに思います。

○大澤委員長 田邊委員、よろしいですか。

○田邊委員 分かりました。ありがとうございます。

○大澤委員長 ありがとうございます。

ほかに皆様、いかがでしょうか。リモートの方、いかがですか。

○大島委員長 事前には段階的縮小の進め方とか聞きたいという話は聞いていたんですけど、その辺、皆さんいかがでしょうか。

○大澤委員長 その他につきまして、意見等も含めて何かございましたら承る場を設けたいと思っております。もしないようであれば、閉会というような方向にいく形になりますけど、皆さん方いかがですか。

保々さん。

○保々委員 保々です。

今、市長が不在ですが、一旦、廃園条例は決まって、4月から段階的縮小は開始されるということで、今募集とかも、募集の数とかも動いているとは思うんですけども、在園児のケアの方針とか具体的なことが、このままいくと新しい市長さんのご意見が加わるのは分かるんですけど、今の状況で、もう4月からスタートしてしまう、段階的縮小が始まっていくので、その辺の対応案とか、こんなふうな情報収集しているとか、そういう動きはもうスタートしているのでしょうか。

○大澤委員長 今、方針の続いた対応の動きというところがどうなっているのかという趣旨のご質問かと思しますので。

平岡委員。

○平岡委員 平岡です。

おっしゃるとおり、私のほうで先ほど報告させていただいたとおり、今、その段階的縮小の条例は有効な状況ですので、当然それに向かって内部ではできる準備はしている



というところがあります。

お子さんに対してどういう対応をしていくかという部分ですけれども、どちらかというところと0歳児のお子さんがいなくなるときに園として全体でどういう保育をしていくかという方向を中心に、今、園長会でも話を、少しずつ意見交換を始めているという状況があります。

ただ、先ほど申し上げたとおり新しい市長が決まった時点での政策なり方針というものもありますので、今この時点でお出しできる資料があるわけでもないというものもそうなんですけれども、具体的にどのようなことというところまでは、ちょっと申し上げるのはなかなか難しい状況でありまして、ただ、引き続き、今の時点では段階的縮小の条例になっていますので、それは行われるという方向に向かっていくための打合せとか協議は、内部では行っているという状況です。

ですので、いずれ新市長が決まったときの、その先になりますけれども、そういう説明が必要な場面があれば、説明ができるような準備はこちらもしていかなければいけないとは今、思っています。

○大澤委員長 保々さん、いかがですか。

○保々委員 決まっていないことを話すのはちょっとあれなんですけど、もしいろいろ方針が決まってきた段階で、運協の場だけではなく、全保護者に向けて説明会なり、何かちょっとみんなが質問できる場。今、質問できるのが、運協のメンバーはこういう場があるのであれですけど、なかなか自分で保育課に電話をして、これどうなっているの、ああなっているのと聞くのはハードルが高いし、仕事を持たれている方などは電話できる時間もない方もいらっしゃると思うんで、そういう場があるといいのかなと、個人的な意見ですが思っております。

以上です。

○大澤委員長 貴重なご意見というような形で承らせていただきたいと思います。

ほかに皆様方、いかがですか。

(なし)

○大澤委員長 最後に、委員長のほうから一言ご発言をしていただいて、このその他につきましては終了させていただきたいと存じます。

○大島委員長 ちょっと私も発言しますが、皆さん、こういう機会に、せっかく意見を言える場がありますので、ぜひ意見を言っていたいただきたいと思います。今、考えていただいても全

然問題ございませんので、ぜひ1人、一言くらい言っていただきたいなどは私は考えてございます。

そうしますと、改めて大島からですが、専決処分が行われて、それが市長が辞任という形で終わってもそれが残っているという現状、これはいかなものかなと正直、父母としても思っていますし、運協の立場でも思っています。

こういう議論で父母の中では、なかなか難しい議論でもあって、皆さんどうですかと、お互いなかなか意見交換もできない状況であるけれど、やっぱりその中でも父母はおのおの不安に思っていたり、実際、今後どうなるんだろうとか、それが対象園でない保育園だとしても今後の小金井の保育はどうなっていくんだろうということを、間違いなく考えている方は多いと思っています。

そういった状況の中で、これは意見として申し上げたいんですが、市長がどうなるか、市長がこういうことを言うから、じゃあ今後こうなるという言い方を皆さんされますけれど、それだけでいいのかなということを正直思っています。市長が全てを決めるわけじゃなくて、私たち保護者も含めて全て小金井の市民でございますので、一人一人の意見ということがそもそも大事、それを代表するのが市長とは言いますが、市長の一言で全て決まるものではないと思っています。これは、もちろん保護者もそうですし、市の当局側のほうにも言いたいんですけど、市長の考えに沿って私たちは動きますという考えは分かります。それは事実だと思いますけど、一方そうではなくて、実際の保育を支えているのは市長だったり、保護者だけではなくて、市の当局の方が現場の方と連携して、この小金井の保育をつくっているという現状がありますので、そこは市長が何て言うかとかもありますけど、それはそれとして、私たちの小金井市としては、保育はこういうふうに考えているということを、ぜひ意見を聞かせて、よりよい保育をつくっていただきたいと私は思っています。

ですので、市長が何を言うか、そういうことを考えるだけではなくて、絶対、自分たちの意見を持っていると思うんですね。持っている中で、それを公の場で言える、言えないということはあるにせよ、一方、市長が何を言おうが、ここは曲げられない、ここは市長にお願いしたいということも、今までもあったと思いますし、そういうことは声を上げていただきたいと思います。

小金井の保育というのは、私は現状すごい、不満なところもありますけれど、満足しているところもあります。ここをどうするのかというのは、やっぱり市長だけではなく

て、議員さんだけでなく、やっぱり保育課の皆さんのところがすごい大きいと思っていますので、そこはぜひ小金井の保育を考えるという中に一緒に入って、市長にも意見を申し上げて、そういう形でやっていただきたいなと思っています。

私たち運協委員としては、向かい合うのは市の当局の方ですので、私たちはそこに意見をぶつけますので、そこは、これはちょっと言えないこととか、そういうことに尻込みせず、私たちはこう思っているんだと。ただ、それはこういうふうには実現は難しいとか、そういうことを自由に言っていたかかないと、こちらもやっぱり議論は成立しませんので、そういう形で今後、市長が決まった後も、市長の意見はこうだけど私たちはこうですと言ってほしいなと私は思っております。

新しい市長に関しましては、私たち五園連として働きかけしていきますので、そこは市の当局の方が自分たちの意見をもって進めるようにやってくださいと、私たちは言いますので、そういう形で、よりよい小金井の保育ということをみんなで考えていけるような形ができればと思っています。

以上です。

○大澤委員長      ご意見、ありがとうございました。

ほかにいかがですか。

○田邊委員      すみません。

○大澤委員長      田邊さん。

○田邊委員      今、大島委員長の言葉に触れて、私もちょっと伝えたいなと思ったんですけども、このたびの専決処分が非常に遺憾です。本当に独裁的な決定が下されたことに民主主義が崩壊した日とまで思いました。本当にこういう大事なことを、この専決処分を決めるという事例が小金井市で起こってしまったことが非常につらくてですね。やっぱり市の方は、市長がとすぐ言うんですけども、やっぱり一人一人の人間として、自分はどう考え、どう動くのかというのをやっぱり持ち合わせていただきたいと強く思います。

これは意見です。

○大澤委員長      ありがとうございます。

ほかに、いかがですか。

(なし)

○大澤委員長      では、最後に次回の日程につきまして、平岡委員のほうからご説明を申し上げます。

○平岡委員      平岡です。

それでは、次回の日程についてお知らせをいたします。

今回は、来年1月21日土曜日、午後3時半から、現時点では対面での開催を予定しています。会場につきましては、現時点ですけれども、第2庁舎の801会議室を予定しています。

なお、今後、新型コロナウイルスの感染状況などによって、今回のようにリモート併用の開催ですとか、状況によってはリモートのみの開催ということの可能性もございますので、その際は、改めてまた調整、連絡等させていただきますので、よろしく願いをいたします。

なお、正式な開催のアナウンスにつきましては、これまで同様、委員の方につきましては開催通知にて、傍聴の方につきましては市ホームページ等で開催する前に都度お知らせさせていただきますので、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

○大澤委員長 今、次回の日程につきまして平岡委員のほうからご説明をさせていただきました。

議題等も含めてちょっと委員長とも調整をさせていただきたいと思っておりますので、次回につきましては、来年の1月21日の土曜日、午後3時半から801会議室で、対面を基本に開催をさせていただきたいと存じます。

それでは、以上で、本日の日程は全て終了いたしました。会議を閉じ、散会いたします。大変お疲れさまでございました。

閉 会